



### < ボランティアステーションってなに? >

真庭市杜協では、ボランティア活動の普及や啓発、活動支援、ボランティア講座の開催等行っています。各支所にボランティアステーションを設置し、ボランティア活動に関する相談等も受付ており、身近な窓口としてボランティア活動の推進を行っています。このボランティアステーションだよりで、地域のボランティア情報等を年3回発信していきます!!!

### 【杜協のボランティア活動支援】

#### 活動の調整支援

- ・ボランティアに関する相談受付
- ・ふれあいいきいきサロンの推進
- ・ボランティア保険受付



（「大内原地区ふれあいの集い」グランドゴルフの様子）

#### 福祉教育

- ・夏のボランティア体験事業
- ・出前福祉教室の開催



ボランティアステーション

#### 情報発信

- ・子育てボランティア活動紹介冊子の作成
- ・杜協だよりの発行

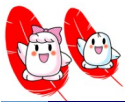


#### 養成講座・研修会

- ・学生向けボランティア講座
- ・ボランティア交流会・研修会

### 【ボランティアとは?】

ボランティアの語源は、ラテン語の「voluntas(意志)」から来ています。ボランティアを始めたいと思うきっかけは人それぞれ違います。ボランティア活動は、自らすすんで人や地域に貢献することにより、活動する自分自身も豊かにしてくれます。



# ぴっくあっぷ ボラ活くせ

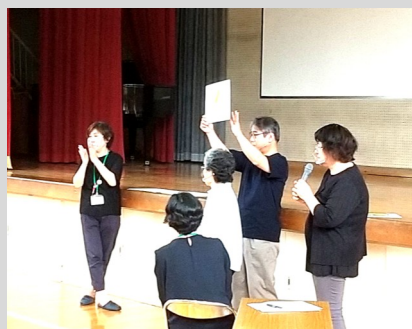
久世で活躍しているボランティア団体を紹介します！！  
手話という言語を地域の人へ広めたい。  
活動を一緒にしたい人募集！！

久世手話サークルやまびこ会長の岩野哲治さんに聞きました。

## <久世手話サークルやまびこの活動について>

久世手話サークルやまびこは、平成9年に久世公民館で活動を始めました。当初は15人程度で立ち上がったそうです。私は、7年前に手話入門講座を受講したことがきっかけで、サークルに参加しました。現在の会員はろう者1名を含む14名です。平均年齢はたぶん55歳ぐらいになります。

主な活動は週1回木曜日の19時30分から約2時間の集まりです。手話で近況報告をしたり、3つの部（レクリエーション部、学習部、機関紙部）が担当して過ごします。また、学校や地域からの依頼で年間5回程度、出前講座に協力しています。



久世手話サークルやまびこは、真庭市と新庄（小学校で開催した出前講座の様子）村の聴覚障がい者と手話サークルや要約筆記サークル等で構成する真庭聴覚障害者コミュニケーションの会やまなみに所属して、市役所への手話通訳者設置や令和3年4月に施行された真庭市手話言語条例の作成について、行政と共に主導的役割を果たしてきました。真庭市はこうした市民活動を積極的に支援してくれており、コロナ禍での施設利用等柔軟に対応してくださり、活動が続けられ大変に感謝しています。

手話が日本語と同じ言語であることを、多くの皆さんに理解していただきたいと思います。みなさん、気楽に手話を一緒に学びませんか。

お問い合わせ：久世地区ボランティアステーション

専門員のひとこと：「ゆるボラナビ」の名前には、「ボランティアを身近に感じて欲しい」という願いと「地域のみなさんに久世のボランティア活動をご案内し、情報をお届けして活動の輪を広めたい」という思いを込めています！